

# 故郷（ふるさと）野付の自然 1 2

8月15日 400分の1羽 ヘラシギ渡来！！

現在、世界的に最も絶滅が心配されている鳥類なのがヘラシギです。

北東シベリアの北極圏のツンドラの極一部でしか繁殖しておらず、その数は最新のデータでは、400羽と推定されています。

そのヘラシギが、野付半島の干潟で記録されました。野付半島では5年ぶりの記録となります。

つまり、今回記録されたヘラシギは、全世界のヘラシギの400分の1羽と言うことになります。

ヘラシギは、夏に北東シベリアで子育てをして、東アジアを經由して、ベトナム、ミャンマー、シンガポールなどで越冬します。

野付半島は、その繁殖地と越冬地を繋ぐ、重要な中継地の一つとなっています。体の大きさはスズメほどの小さなシギですが、何とか絶滅の危機を脱して欲しいものです。

改めて、野付半島が渡り鳥にとって重要な場所である事がわかりますね。



スプーンのような平たいクチバシが特徴です。

